

授業科目名	老 年 看 護 I			担当教員	姫野 稔子、原田 紀美枝 桶田 俊光
開講年次	2年後期	セメスター	4	時間数(単位数)	30 (2)
必修選択	必修	授業形態	講義	使用教室	
授業の目的	個々のもつ老年観を豊かにし、高齢者や高齢者を取り巻く社会支援システムについて理解を深め、高齢者看護の基礎的能力を養う。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己の老年観をみつめ、老年観の構成要素や老年看護における老年観の重要性を理解できる。 2. 高齢者疑似体験を通して高齢者の身体特性を体感し、心理・社会的特性を洞察できる。 3. 老化の理解と日常生活への影響を理解できる。 4. 加齢に伴う諸機能の変化と高齢者特有の疾病を理解できる。 5. 高齢者に関する統計的輪郭および変遷と施策に結び付けて理解することができる。 6. 高齢者が生活もしくは療養している場と関連する制度を理解できる。 7. 老年看護の原理・原則および役割機能を理解できる。 				
授業計画					
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者
1	「古い」「老いを生きる」とはどのようなことなのかを考える 1) 個々の老年観を言語化し、見つけ、洞察する 2) Aging の捉え方を理解する	講義	(復習) 老年期の特徴についてレジュメや教科書で復習する	1 時間	姫野
2	高齢者疑似体験演習により、身体・心理・社会的側面から老いにアプローチする (1)	演習	(復習) 高齢者疑似体験の各役割を通しての学びについてレポートに整理する (1)	2 時間	姫野 原田
3	高齢者疑似体験演習により、身体・心理・社会的側面から老いにアプローチする (2)	演習	(復習) 高齢者疑似体験の各役割を通しての学びについてレポートに整理する (2)	2 時間	姫野 原田
4	老化のメカニズムと身体機能の変化を理解する 課題レポートのフィードバック	講義	(復習) それぞれの器官の加齢による生理的变化について復習する	2 時間	姫野
5	国内外における高齢化の統計的輪郭と施策の変遷を理解する	講義	(復習) 高齢化の全体像を理解し、保健福祉政策とのつながり整理する	1 時間	姫野
6	社会の高齢化に伴う社会保障と権利擁護について理解する	講義	(予習) ナーシンググラフィカ第 2 章 3 高齢者を支える制度を読んでくる	1 時間	原田
7	高齢におけるケアシステムを理解する	講義	(予習) ナーシンググラフィカ第 2 章 5 地域包括ケアを読んでくる	1 時間	原田
8	老年医学 (1) 老化の機序および加齢による生理的現象を理解する	講義	(復習) 講義を受けた箇所を復習する	1 時間	桶田
9	老年医学 (2) 脳神経系・筋骨格系における諸機能の変化と疾病を理解する	講義	(復習) 講義を受けた箇所を復習する	1 時間	桶田
10	老年医学 (3) 呼吸器系における諸機能の変化と疾病を理解する	講義	(復習) 講義を受けた箇所を復習する	1 時間	桶田
11	老年医学 (4)・循環器系における諸機能の変化と疾病を理解する	講義	(復習) 講義を受けた箇所を復習する	1 時間	桶田

12	老年医学(5) 消化器系・代謝系・内分泌系における諸機能の変化と疾病を理解する	講義	(復習) 講義を受けた箇所を復習する	1時間	桶田
13	老年医学(6) 感覚器系・泌尿器系における諸機能の変化と疾病を理解する	講義	(復習) 講義を受けた箇所を復習する	1時間	桶田
14	老年看護の理念・目標・原則を理解する	講義	(復習) 高齢者看護の理念と原則、高齢者看護の役割を整理する	1時間	原田
15	定期試験のフィードバック	講義	(復習) フィードバックを受けた内容を復習する	1時間	姫野
先行履修科目					
テキスト	佐々木英忠 著：系統看護学講座 21 老年看護 病態・疾患論. 医学書院, 2018. 堀内ふき 他著：ナーシンググラフィカ老年看護学①高齢者の健康と障害. メディカ出版, 2016.				
参考文献	メアリー A. マテソン 他：看護診断にもとづく老人看護学 1～5. 医学書院, 1992-1995. E. H. エリクソン 他：老年期—生き生きしたかわりあい—. みすず書房, 1997. Lawton, M.P. : Environment and other determinants of well-being in older people. Gerontologist 23(4).349-357, 1983.				
メッセージ	人体の構造と機能の復習をして講義に臨んでください。				
科目の位置づけ	既習の人体の構造と機能の知識に生理的な加齢変化という視点を加えて理解する科目である。また、本科目で高齢化に関する統計的輪郭を概観し、社会保障や権利擁護の知識は、同時期に開講される在宅看護Ⅰの社会制度の理解ともつながる。また、後期科目である高齢者と看護Ⅱの基盤的科目の位置づけでもある。				
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
	◎	○			
評価方法	レポート 20% ・ 試験 80%				